

押小だより



令和3年11月8日
さくら市立押上小学校
令和3年度 第12号

6年 修学旅行 ～福島県 会津・いわき方面～

10月28日(木)～29日(金)、6年生が修学旅行「福島県の会津・いわき方面」に出かけました。



⇨最初の目的地である「大内宿」。宿場町として栄えた面影そのままの茅葺き屋根の民家が建ち並び、子どもたちを迎えてくれました。しっとりとした雰囲気と紅葉とのバランスが最高です。子どもたちは、班別行動を楽しみました。

次に向かったのは東北屈指の名城「鶴ヶ城」。

ここでは、お城の中に入り天守閣に登ったり、買い物をしたりして楽しみました。天守閣からの眺めは最高でした。⇨



⇨1日目最後の見学先は「野口英世記念館」。子どもたちは、野口英世が幼少期に大きなやけどを負ったこと、のちに手術を受け医学の素晴らしさを感じ医学に生きる道を選択したこと、さらに細菌学者として優れた医学的発見をしたことなど、わかりやすく学ぶことができました。

宿泊所となった旅館「吹の湯」。大正12年創業の老舗旅館で、いわ



き湯本温泉の中でも一番奥の高台にあります。温泉や食事、部屋での時間を大いに楽しみました。⇨



⇨2日目最初の目的地は「いわき市石炭・化石館」。化石の展示だけでなく、昭和の炭鉱時代の様子を模擬坑道で体験しました。

続いて「いわき震災伝承みらい館」。東日本大震災で地震や津波に加え、原発事故が重なる複合災害に見舞われたいわき市。震災の記憶と教訓を将来に発信するために作られた施設を見学しました。その後、子どもたちは神秘的な表情で「語り部」さんから、震災当日の様子を聞きました。災害に対する危機意識や防災意識が高まったものと思います。⇨



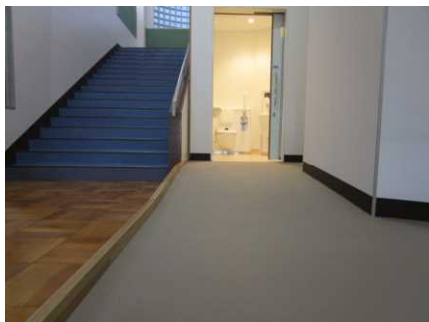
⇨最終見学地である「あぶくま洞」。

全長600mの洞内に鍾乳石が続く神秘的な場所で、子どもたちは不思議な魅力に見入っていました。

子どもたちは、この修学旅行をとおして、知識を広げるだけでなく、集団生活の決まりを守ることや公衆道徳を学ぶ場としての体験をしてきました。今後ますますの活躍を期待しています。

いよいよ工事も終盤に 大規模改造工事関連

6月19日(土)の第1回目の引越し後から本格的な工事がスタートして、まもなく5か月が経過いたします。子どもたちには、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、不便な生活や我慢をさせることが多かったと感じています。それでも、きれいになっていく工程を見ながら、完成を楽しみにしています。11月13日(土)、14日(日)には、4～6年生教室が1階から2階に引越しとなります。そのほか理科室や家庭科室なども大きなロッカーや机がきれいになって元に戻ります。また、児童の昇降口付近にはバリアフリースイレが設置されます。今後はランチルームや正門付近の整備を行い、完成へと進んでいきます。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。



【児童昇降口付近の2階への階段とバリアフリースイレ、そのスロープが整備されました】



【左から 家庭科室、図書室を主たる目的とした多目的室（旧パソコン室）、放送室です】



【左から 2階の教室、手洗い場、トイレです】

12/14(火) 市学力調査

12月14日(火)、市内全小中学校で学力調査を実施いたします。本校としては、こうした機会を既習事項の定着を図るチャンスと捉え、子どもたちに声掛けをしていきたいと思っております。

ご家庭でも苦手な分野を次の学年に持ち越さないようにするなど、確認くださるようご理解とご協力をお願いいたします。



さくら市独自の学力検証改善サイクル
～市・学校の課題の把握と取組の工夫、成果を共有する取組の検証～

調査の実施!

さくら市学力

令和3年12月14日(火)

市内全小中学校の小学1年生から中学2年生を対象に実施します。小学生は、国語・算数の2教科、中学生は、国語・社会・数学・理科・英語の5教科です。11月までの内容が出題されますので、今までの復習をしっかりしてのぞみましょう。

ご家庭でもご協力をよろしく願います。

さくら市教育委員会より